

ロシア・CIS諸国研究者とのコラボレーションのパートナー

国際科学技術センター

利用の手引き

— 支援プログラム、参加企業・研究所への特典、成功事例の御紹介 —

ロシア／CIS諸国の素晴らしい才能に 目を向けてみませんか!

—我々ISTCが皆様のお手伝いを致します—

What is ISTC?

国際科学技術センター (ISTC) は、ロシア/CIS (独立国家共同体:旧ソ連諸国) の研究者を支援するとともに民生分野の活動への転換に貢献する国際機関です。

ISTCの目的は次の通りです。

- ・ロシアを含むCISの研究者に、彼らの技術を用いて民生分野の研究活動に参画できるよう機会を提供
- ・CIS内外の科学技術発展に貢献
- ・CISの市場経済化支援
- ・CISの研究者が世界的な科学技術のコミュニティーに参画できる機会を提供

ISTCは、加盟する政府間、関係する国際機関、民間団体、CISの研究所間の橋渡しを行います。

Who are members?

拠出国



カナダ EU 日本 米国 ノルウェー 韓国

被支援国



アルメニア ベラルーシ グルジア ロシア連邦 カザフスタン キルギスタン タジキスタン

活動内容

関連プログラム
プロジェクト

設立以来15年で
 ・2600以上の研究プロジェクトに出資、総額約800百万ドル
 ・ロシア／CISの980以上の研究所において、70000人以上の研究者が参加
 ・毎月、30以上の提案を受理。

パートナープロジェクト

パートナー（民間企業等）が研究プロジェクトに投資するための制度です。

レギュラープロジェクト

各国政府がプロジェクトを支援するための制度です。



ジャパンワークショップ

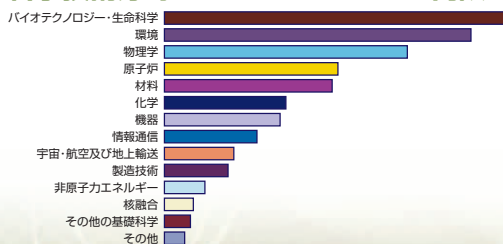
ロシア等CIS諸国の先端技術を日本に紹介するために1997年以降合計50回近く開催しています。これまで紹介した技術は、材料、ナノテク、バイオ、ロボット技術等です。

技術データベースの作成・提供

レギュラープロジェクトの概要（パートナープロジェクトの情報は公開しておりません）、CISの研究所情報、CISの研究所から提出された研究プロジェクト提案などをデータベースにして提供しております。

支援プログラム
その他

科学技術分野におけるプロジェクト内訳



パートナープロジェクトとは?

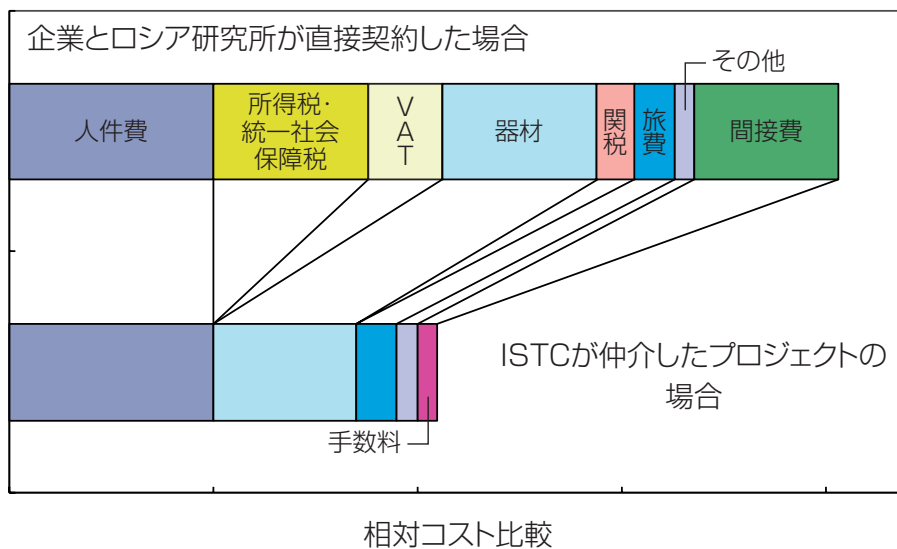
パートナー（民間企業等）が研究プロジェクトに投資するための制度です。パートナー側のニーズに応じたプロジェクトが実施可能で、知的財産権などの面でパートナー側がより有利となっています。

ISTCを通じたパートナープロジェクト

パートナーとなってプロジェクトを実施されますと、以下のメリットがあります。

- ・ 研究所に対する資金はISTCが完全な管理を実施
- ・ 研究者への給与は免税、ISTCより直接支払い
- ・ プロジェクト実施に必要な物品の輸入手続きの支援、関税は無料
- ・ ISTCによるプロジェクト実施状況の調査
- ・ 閉鎖都市の研究所への訪問手続き
- ・ 知的財産保護のサポート
- ・ プロジェクト支援事業
- ・ 研究費用は安価

ISTCパートナープロジェクトコスト比較 (イメージ)



パートナーになるには？

パートナー登録には、貴社/組織の活動概要及び連絡先等について記載していただく申請書の提出をお願いしています。ISTC事務局は申請書の提出を受けて、ISTC関係政府に照会したのちに承認されます（各国から特別な異議がないのが通常です）。

パートナープロジェクトで得られた知的財産権（IPR）について

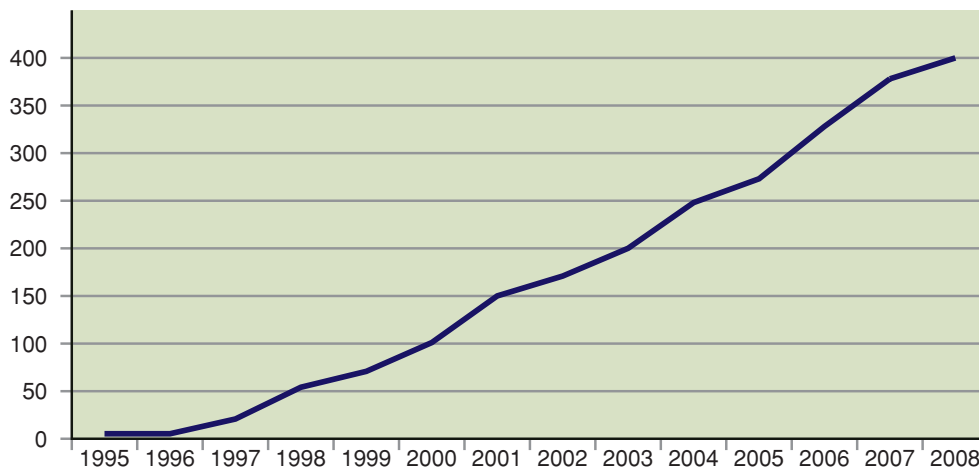
パートナープロジェクト実施による知的財産権の割当

適切な知的財産権の割当のために、各プロジェクトの様々な状況を検討しながら、研究所とパートナーとの間の交渉によって個別に決定されます。

一般的な事例

プロジェクトの成果に基づく知的財産権は、研究所とパートナー企業が共同所有し、研究所は、ロシア・CIS国内のパートナーは自国における占有実施権を保有し、その他第三国における扱いについては、個別交渉によって決められます。パートナーがより広範な知的財産権を取得する場合は、研究所側に適切な補償がなされることが期待されています。

パートナー企業は年々増加しています



日本のパートナー

2009年8月現在

〈企業〉

- ・アイシン精機(株)
- ・味の素(株)
- ・(株)ウェルシィ
- ・大橋春日通商(株)
- ・(株)カネカ
- ・コマツ(株)
- ・ジャトコ株式会社
- ・住友商事(株)
- ・太陽誘電(株)
- ・東亜ディーケーケー(株)
- ・(株)東芝
- ・有限会社 ナノ炭素研究所
- ・日本ガイシ(株)
- ・日本メクトロン(株)
- ・浜松ホトニクス(株)
- ・日立化成工業(株)
- ・(株)日立製作所
- ・丸紅(株)
- ・三菱化学(株)
- ・明治製菓(株)
- ・Project Sophia & Consulting Co., Ltd
- ・アイタック(株)
- ・石川島播磨重工業(株)
- ・ウシオ電機(株)
- ・カイ インダストリーズ(株)
- ・川崎重工業(株)
- ・小松エレクトロニクス(株)
- ・昭和電工(株)
- ・株式会社ゼンワールド
- ・チッソ(株)
- ・東京ガス(株)
- ・豊田通商(株)
- ・日産自動車(株)
- ・(株)日本鋼管テクノサービス
- ・特定非営利法人日本パテントリサーチアソシエイト
- ・(株)ハヤシバラ・インターナショナル・モスクワ事務所
- ・日立国際電気(株)
- ・日立電線(株)
- ・丸紅ユーティリティ・サービス(株)
- ・三菱重工業(株)
- ・(株)ユージェーティーラボ
- ・旭化成(株)
- ・(株)イマオコーポレーション
- ・応用地質(株)/機器事業センター
- ・花王(株)
- ・神戸天然物化学(株)
- ・シャープ(株)
- ・スタンレーUK
- ・双日(株)
- ・帝人(株)ロシア事務所
- ・東京電力(株)
- ・トヨタIT
- ・(株)ニコン
- ・日本製綱所(株)
- ・パナソニック (CIS)
- ・萬邦通商(株)
- ・日立金属(株)
- ・(株)フジクラ
- ・三井造船(株)
- ・三菱電機(株)
- ・横河電機(株)

〈公的機関〉

- ・(独) 宇宙航空研究開発機構 (宇宙開発事業団)
- ・岐阜県科学技術振興センター
- ・(独) 産業技術総合研究所
- ・(財) 2005年日本国際博覧会協会
- ・(独) 日本原子力研究開発機構 (日本原子力研究所、核燃料サイクル開発機構)
- ・(財) 日本産業技術振興協会
- ・(独) 理化学研究所
- ・(財) 航空宇宙技術振興財団
- ・大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
- ・(独) 物質材料研究機構

主要な外国のパートナー

/Dow Chemical /Dupont /3M /General Electric /Boeing /Exxon Mobil /P&G/Sandia Nat'l Lab /Los Alamos Nat'l Lab /DOE /NASA /EPA/Bayer /COGEMA /BASF /Shell International /Royal Philips Electronics/CERN /CEA /Max Plank Society /Fraunhofer G'shaft /DTI

詳細情報はこちらから御覧ください

http://www.istc.ru/istc/istc.nsf/va_WebPages/WhatisaPartnerEng

ISTCのサクセス・ストーリー

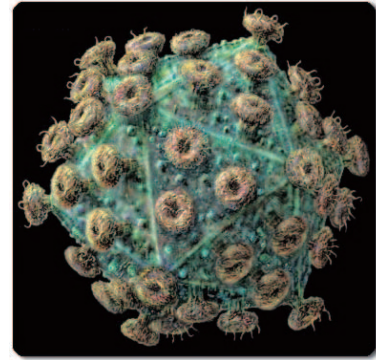
材料と医療の分野で活躍する ナノテクノロジー



新しいナノチタン製品

大変丈夫な新ナノ構造材料で作られたナノチタン製品は、医療や歯科インプラントに使用できます。生体適合性の高い先端材料とカスタム製作性の向上により、自動車産業や航空学分野などでさまざまなイノベーションが実現されています。

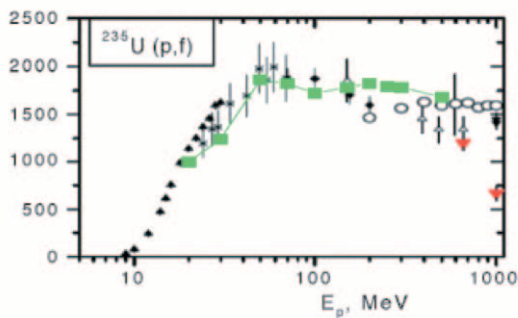
効果的な新HIV抑制物質



HIV (ヒト免疫不全ウイルス) の構造

ベラルーシの科学者がポリジスルフィド基化合物と関連含硫化合物による、低毒性の効果的な新しいHIV抑制物質を発見しました。現在これらの化合物をさらに試験し有効な抗HIV薬を開発すべく業界パートナーを募っています。

安全な核エネルギー



U-235の陽子誘起核分裂の断面—緑の四角はISTCのプロジェクト測定値を、他の記号はこれまでの実験によるデータを示す。

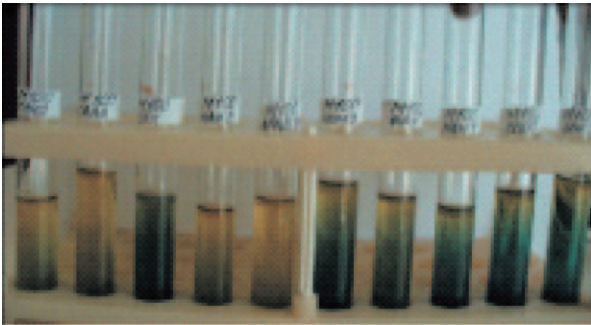
核施設の設計と安全な運営には、信頼性の高い核データライブラリーが必要です。最新の核データライブラリーを使用して重原子核との核子誘起核反応の主な特徴をシミュレーションするため新しいコンピュータコードシステムMCFxが開発されました。

新しい探知装置



核物質の不正取引は大いに憂慮すべき問題になっています。密閉された場所で使用でき、核物質の有無を3~4秒で検出可能な新しいソフトウェアを内蔵した携帯装置が新たに開発されました。また、貨物コンテナや荷物に高性能爆薬、核物質その他危険物質がないか探知できる新しいハードウェア、ソフトウェアが開発されました。

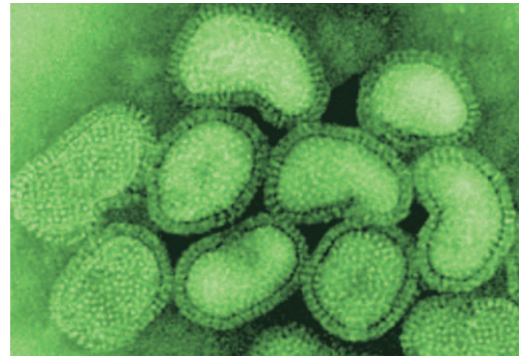
環境保護



さまざまな糖による培養液を使用した培養

農薬化合物で汚染された土壌向けに、微生物によるバイオレメディエーション手法が開発されました。実用性があり、環境団体の関心を呼んでいます。

汎流行性インフルエンザの脅威の抑制



インフルエンザAウイルス

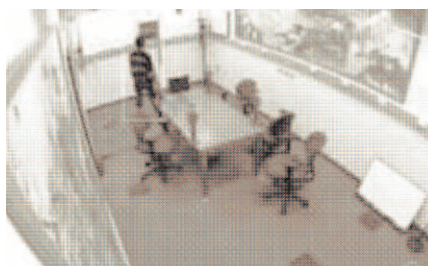
起源や遺伝子型の異なるインフルエンザAウイルスを識別できるマイクロチップを作成するプロジェクトです。この方法は予想される汎流行性インフルエンザの検査、別種のウイルスによるものを含めた自然発生的合併結合の早期把握、ワクチン生産のためのウイルスの検査に利用されます。

侵入者や侵入物を自動検知する高度な画像認識システムの研究・開発

ISTCのプロジェクトは日立国際電気社内の「2007年最優秀技術開発賞」を獲得

ロボット・サイバネティック技術センター（RSSCRTC、サンクトペテルブルク市）が日立国際電気株式会社のISTCパートナープロジェクト「テロ行為防止用のソフトウェア及びハードウェアの開発」により開発した技術はテロ・犯罪の防止への活用が期待される。重要設備用、家庭・オフィス用の二種類のアラームを開発し、テロリズムや犯罪などのリスクからインフラや個人を守るための、画像認識処理アルゴリズム及びシステムの研究を行う本プロジェクトは、屋外環境下における日照変化、外乱光などの影響を抑制し、対象物体を高精度に検知する画像認識システムの実現を目指している。

実施研究所: Russian State Scientific Center for Robotics and Technical Cybernetic (ロシア連邦、サンクトペテルブルク)



ISTCのデータベースのご案内

ISTCにロシア・CIS研究所から寄せられたプロジェクト提案は、データベース化されてISTCのHPにて公開しています。約6,000件のプロジェクト情報を年度別、技術分野別、地域別及びキーワードで検索可能ですので、興味を引く研究課題を検索してみてください。パートナーになられた場合、さらに詳細な情報の提供も可能です。政府出資のプロジェクト(レギュラープロジェクト)情報も公開していますが、民間出資のプロジェクト(パートナープロジェクト)の情報は非公開となりますのでご注意ください。

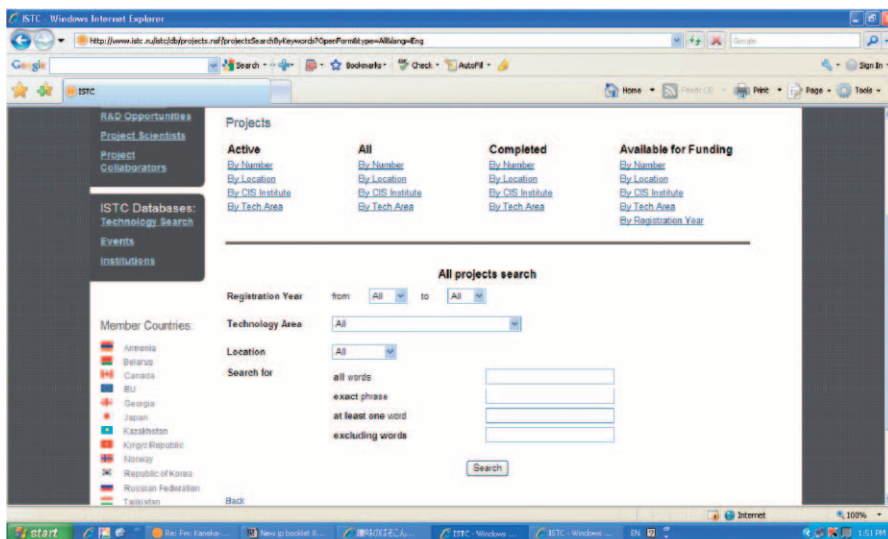
ISTC Projects Database:

http://www.istc.ru/istc/db/projects.nsf/fa_WebForSearch?openform&count=20&lang=Eng

また、ISTCからファンディングされたプロジェクトの成果の技術的な評価や市場価値及び知的財産の情報をまとめたデータベースも整備しています。

Innovative Technologies Database:

<http://www.istc.ru/istc/wwwtechn.nsf/web/main.html>



ジャパン・プロモーションチームとは？

Japan Promotion Teamは日本のパートナーの方々とロシアCIS研究者とのコラボレーションをお手伝いするためのあらゆるサービスを行っており、ビザ発行サポート、ホテルの予約、ロジスティクの確保、ロシア・CIS研究所の訪問アレンジ、プロジェクト契約・知的財産権等の扱いについて、研究所との交渉を仲介しております。ISTCの二人の日本人職員と日本語を操る二人のロシア人職員がお手伝いを致します。お気軽にお問い合わせください。

ジャパン・プロモーションチームの連絡先 japan@istc.ru

行松 泰弘 [Yasuhiro Yukimatsu](mailto:Yasuhiro.Yukimatsu@istc.ru) (Mr.), Deputy Executive Director of ISTC, +7-495-982-3108

高木 優 [Yu Takagi](mailto:Yu.Takagi@istc.ru) (Mr.), Senior Technology Coordination Manager, +7-495-982-3167

ユリア・ルボバ [Julia L'vova](mailto:Julia.L'vova@istc.ru) (Ms.), Program officer, +7-495- 982-3114

アレキサンドル・ノビコフ [Alexandr Novikov](mailto:Alexandr.Novikov@istc.ru) (Mr.), Partner Promotion Officer, +7-495-982-3252